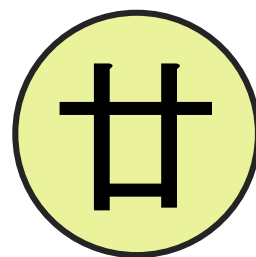


NEWS LETTER ②

子育てモニター

担当者意見交換会を開催しました！



本市では、令和6年2月14日に「こどもが主役のまち はつかいち宣言」を行い、こども・子育て世代を見守り、応援し、安心感と温もりのあるまち、こども達が健やかに育つまちを目指しております。この取り組みの一環として「学校・保育園・幼稚園など以外でお子さんが普段多く過ごしている場所」をメインテーマに子育て中の子育てモニターから声を聞かせていただきました。

～開催情報～

(日時) 令和6年10月27日

10:30～12:00

(場所) まるくる大野
研修室1

こどもたちの安全な居場所確保

こどもたちが安全に楽しく過ごせる場所の確保について、様々な意見が出されました。

こどもが公園でボール遊びをする際に、近隣住民から苦情が寄せられるケースや、児童会の利用ルールが厳格で、こどもが窮屈に感じているという声が聞かれました。特に、猛暑や雨天時など、屋外で遊べない場合の選択肢の少なさが課題として指摘され、屋内施設の必要性を訴える声が上がりました。

また、学校施設の開放や地域住民によるこどもたちの見守り活動など、地域ぐるみでこどもたちの居場所づくりに取り組む必要性も議論されました。



仕事と子育ての両立の難しさ

仕事と育児の両立の難しさについても、多くの声が寄せられました。

仕事を持つ保護者からは、こどもの病気の際に、仕事を休まざるを得ない状況が頻繁に発生し、経済的な損失だけでなく、精神的な負担も大きいとの声が聞かれました。特に、土日が仕事のサービス業など柔軟な働き方が難しい職場では、子育てとの両立が困難であるという意見もありました。

また、仕事と育児の両立を図る上で、病児保育の充実は欠かせないという意見がありました。核家族化や共働き世帯の増加に伴い、休日保育の実施や小学校進学後の児童会の開会時間について、通勤時間を考慮し早めて欲しいなど、柔軟かつ多様な保育等のサービスを求める声が多数寄せられました。



その他の意見

その他の意見では、子育て支援サービスの周知について寄せられ、既存サービスの情報が届いておらず、利用したくても利用できない状況があるのではと声が上がりました。

また、高齢出産による負担についても議論があり、高齢出産の場合には体力的に子育てが大変なだけでなく、「親が高齢で頼られない」など負担のある現状が浮き彫りとなりました。

そして、ベビーカーで利用しにくい場所やこども連れでも利用しやすいトイレ、駐車場の不足などが指摘され、利用者目線に立った設備の設計が求められました。

